

ホスティングサービス

ホスティングで利用可能なSSL証明書は何ですか？また、証明書によって暗号化の強度は異なりますか？

以下の3種類の証明書が利用可能です。

- **ドメイン認証**（DV:Domain Validation）
- **実在証明型**（OV:Organization Validation）
- **実在証明拡張型**（EV:Extended Validation）

証明書の種類によって暗号化強度の違いはありません。何を証明するかによって、取得するSSL証明書を選択してください。

- DV（Domain Validation）はドメイン名が正しいかどうかを認証します。
ホスティングでは非営利団体「Internet Security Research Group」により提供されるSSL証明書「Let's Encrypt」が無償で利用可能です。「Let's Encrypt」証明書の更新作業は自動的に行われます。
取得や設定方法はホスティングマニュアルのP16で確認できます。

（ホスティングマニュアル）
<https://www2.media.hiroshima-u.ac.jp/sso/hosting/manual.pdf>
- OV（Organization Validation）はドメイン名に加え、会社名も証明します。
国立情報学研究所（以下、NII）のUPKI電子証明書発行サービスが常勤教職員であれば無償で利用できます。
ただし、証明書の有効期限が1年1か月のため、証明書の更新作業が定期的になりなります。

取得および更新方法は、メディアセンターホームページ → すべてのサービス → 情報セキュリティ → 「学内限定」UPKIサーバ証明書発行等手続きサービスで確認できます。

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services/secuinfo/nii-first/>

設定方法はホスティングマニュアルのP15で確認できます。

（ホスティングマニュアル）

<https://www2.media.hiroshima-u.ac.jp/sso/hosting/manual.pdf>

- EV（Extended Validation）はDV、OVよりも厳格な審査を受けてから発行されます。
発行された証明書は、ドメイン名、実在証明を行います。さらにブラウザのアドレスバーに、組織情報が表示されるようになります。有料で取得し設定することが可能です。

ホスティングサービス

最終更新: 2021-01-19 01:33